

治療研究費

に二百万円

政府から初の助成金

大橋登水侯市立病院長が十三日明らかにしたところによると、公害認定後正式に水俣病患者治療研究助成金として二百万六千円が近く水俣市に送られることになった。この助成金はいりあえず近々行なう予定の水俣病患者の再診察に要する費用や各患者の発病当時

から今後の追跡調査費用など医学的な研究費として出されるもので、今後研究費の追加や医療費の特別助成などもほとんど約束がまとまっているという。

このほか市が陳情していた湯の児リハビリテーションセンターに入院中の重症患者付き添い看護人の増員問題も、一応四十四年度予算で人件費などの助成を考慮する約束ができており、すでに十二月初めから従来の五人から九人に増員して看護充実を図っている。